

地域計画策定に向けた取組み

農委会名：合志市農業委員会

1 地域の概要

本市は、北部地域に菊池台地として広大な農地が広がっており、一般的に平坦で傾斜は少なく、用水が乏しかったが、国営菊池台地事業により多様な作物が作付け可能となり、生乳、施設園芸（すいか・いちご・かすみ草など）、葉タバコ、水稻が基幹作物として生産されている。

T SMC進出関連に伴い農地転用が増え農地は減少しており、遊休農地を無くし優良農地の確保を進めていくことが課題である。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 13人（うち認定9人、女性3人）
- (2) 推進委員数 22人（うち認定11人、女性0人）
- (3) 事務局体制 4人（すべて専任4人）

3 掲げた目標

旧町単位の2つの計画（合志地区・西合志地区）の策定

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

- ・地権者・耕作者へのアンケート調査については、公共の事業予定（中九州横断道路・工業団地等）があるため調査を見合わせ、令和元年度・令和2年度に実施したアンケート結果を意向調査として活用した。
- ・地域での話し合いについては、先行地区である原口地区で2回実施したが、その他の地区については、計画区域毎（旧町毎）の説明会を計4回開催した。



（協議の場の様子）



（実際に使用した現況地図）

5 取組みの成果

- ・目標地図については、市内を35のエリアに分けて完成。
- ・令和6年度については、耕作者別に色塗りした現況地図とほぼ変わらない程度の目標地図しか作成できなかった。

6 課題と今後の方針等

- ・ 目標地図作成まで進めることができたが、今後毎年の地区見直しでどこまで集約化を進められるかが課題である。